部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原 朗	電話	482-0924
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9957	事務事業名称	勝田台浄水場施設改良事業				短縮コード	経常	9957	臨時		
予算区分	会計	62	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	02	建設改良費	目	03	改良工事費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等									
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和44年に供用開始した勝田台浄水場は、施設が老朽化しており、耐震化対策を講ずる必要があることから、施設を更新をする。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
なし					大項目 (節)	04	水道					
					中項目	01	水道					
					小項目 (施策)	01	水道の運営基盤の向上					
					細項目	01	安定供給の向上					
					実施計画の計画事業	4409	勝田台浄水場施設改良事業					
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間	平成19年4月 ~ 平成21年3月	計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	勝田台浄水場						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 既存の高架水槽, 配水池及び配水ポンプ等の撤去 ※平成20年度に計画していること: 配水ポンプ, 次亜塩素酸注入設備及び電気計装設備等の更新						
意図 (何を狙っているのか)	本事業では、阪神・淡路大震災の規模に対応できる施設にするとともに、3階以上の建物に直結給水できるようにする。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画
対象指標	指標1	給水能力	m ³ /日	5,250	5,250	5,250	5,250
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	工事の進捗率	%		30	34.5	65.5
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	貯水時間	h		7	7	7
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9957	事務事業名称	勝田台浄水場施設改良事業			所属名	維持管理課
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円		240,000	177,900	402,500
		一般財源	千円		64,920	44,973	96,452
	その他	千円					
主な事業費の内訳				○施設撤去等整備工事 37,338千円	○施設撤去等整備工事 37,338千円	○配水ポンプ設備等改良工事 228,564千円	
人件費(B)		千円	0	0	16,772.6	17,467.3	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	304,920	239,645.6	516,419.3	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価 類型	評価事項	評価区分	理 由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	浄水場の機能が適正に整備されていれば、水道水の安定供給ができ、水道水の運営基盤の向上に結びつく。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☒ 達成していない ☐ 評価対象外事項	工事種類が多く、単年度での完成が困難であるため、平成19年度より2ヶ年継続事業で取り組んでいる。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある ☒ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	法的に認可を受けた事業者が必然的に実施するものである。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	計画どおり事業を推進させるためには、現状の目的及び意図でないと達成できない。			
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある ☐ 効率性向上の可能性はある ☐ 両方可能性はある ☒ 可能性がない	老朽化した施設の更新等は、最小限の経費で最大限の効果が生じるように努めているので、これ以上のことはできない。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		☐ 臨時的任用職員等の活用				2
		☐ IT化等業務プロセスの見直し				
		☐ 受益者負担の見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある ☐ ない					

コード	9957	事務事業名称	勝田台浄水場施設改良事業			所属名	維持管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他			老朽化した施設は、計画的に更新するしかない。																					
			☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☒</td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>						経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	☐	☐	☒	不 変	☐	☐	☐	低 下	☐	☐	☐	老朽化した施設の更新等には多くの経費を必要とするが、水道の運営基盤の向上になる。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	☐	☐	☒																							
	不 変	☐	☐	☐																							
	低 下	☐	☐	☐																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
なし	

所属長コメント	工事は計画どおりの進捗率で、平成20年度完成に向け進めていく。	
	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。